

松戸市長 本郷谷健次 様
松戸市教育長 山根恭平 様

2011年10月20日

要望書

松戸市 PTA 問題研究会
代表 浅井ゆき

松戸に暮らす子どもたちのために日々尽力いただきありがとうございます。
この度、ようやく松戸市でベクレルモニターによる食材・食品の放射性物質の測定が始まったとうかがいました。子どもたちの食による内部被曝を極力最小限に留めたい保護者にとりましては、待ちに待った市の取り組みです。いまのところ市内農作物検査が優先されているようですが、できるだけ早く市内小中学校の給食の測定を始めていただきたく、ここに要望いたします。

1. 食材ごとの検査ではなく、牛乳も含め、給食メニューの調理されたもの1食分すべてをミキサーにかけ、混濁した状態のものを測定器にかけて検査してください。一つの食材に含まれる放射性物質が基準値以下であっても、給食全体でどの程度の放射性物質の量になるのか、わかりにくいからです。食による内部被曝を最小限にとどめるため、ぜひこのような測定方法を採用してください。
2. 上記のような測定方法による、放射性物質核種ごとの測定値を市のホームページ上で公表してください。
3. 市内小中学校全ての給食1食分の測定を順次実施してください。
4. 測定の検出限界は1食分10Bq/kg以下としてください。

以上